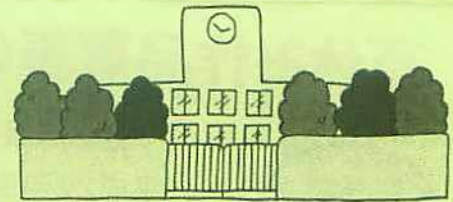


# ぐんま金融広報だより

## 平成22年度 金融教育研究校のご紹介

群馬県金融広報委員会では、お金を使う、運用するなどお金について多方面からの研究を行う「金融教育研究校」、物やお金の大切さを学ぶ「金銭教育研究校」を委嘱し、活動を支援しています。

今年度は新たに、桐生市立商業高等学校を委嘱しました。委嘱期間は平成22年4月1日から平成24年3月31日までの2年間です。



### 桐生市立商業高等学校

URL <http://www.kurisyo.jp/>

本校は、昭和15年に創立され、今年で創立70年目を迎える歴史と伝統を誇る商業の専門高校です。全日制課程のほかに定時制課程を併設しています。「進取、創造、至誠」の校訓のもと現在まで多くの卒業生が地元はもとより全国各地で活躍しています。

全日制課程は商業科及び情報処理科の2学科を設置し、商業科が4学級、情報処理科が2学級の1学年6学級、全18学級の体制です。一方、定時制課程は商業科が1学年1学級、全4学級の体制となっています。



本校では、来年度にコンピュータ設備の更新予定があり、より一層の情報処理教育を実践することができます。これからは、コンピュータを活用した商業教育の推進を図るとともに、生徒の生きた国際感覚の育成を図るためインターネットの活用を重視し、個人と個人との国際交流にまで発展できるような教育環境を準備していきたいと考えています。

また、勉学や部活動、検定試験などを通じて、何事にも果敢に挑戦するための精神を育み、面倒見の良い指導体制のもとで、夢に近づく大きな一歩を踏み出せるように支援しています。そして、地域社会の期待と

要望に応え、輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、生徒一人ひとりの希望する進路が実現できるよう取り組んでいます。

現在、金融における規制緩和などに代表される金融ビッグバンをきっかけに、私たちの生活が単なる貯蓄から投資へと変化していることや、架空請求などの金融関連の犯罪が増加していることを考えると、金融教育の必要性はますます高まっていると言



えます。

このようなことから、本校では生徒が「高校生のうちから金融の仕組みについての理解を深め、将来は複雑かつグローバル化する社会で自立した社会人として生活していけるように」という考えのもとに、授業による指導や校外施設見学を通して金融に関わる基礎基本から学ぶことで、生徒が興味関心を示すような指導を行います。

今回の研究指定による金銭・金融教育によって、将来は自立した社会人となれるような知識が身に付くことを期待しています。



## 夏休み作品募集のお知らせ



金融広報中央委員会(事務局:日本銀行情報サービス局内)では、平成22年度も学校における金融教育の支援活動の一環として、以下の3つの作文・小論文コンクールを実施します。作品を募集いたしますので、みなさんが日頃から「お金に」について、考えたり思ったりしていることを文章にしてみませんか。

- ・第43回 お金の作文コンクール(対象:中学生)
- ・「金融と経済の明日」第8回高校生小論文コンクール  
(対象:高校生及び高等専門学校3年生まで)
- ・第7回金融教育を考える小論文コンクール  
(学校教育関係者、大学生含む)

詳しい内容については、

**金融広報中央委員会 HP 「お知らせ・イベント」をご覧ください。**

<http://www.shiruporuto.jp/event/index.html>

---

◇ 本誌についてのお問い合わせは群馬県金融広報委員会までお気軽にどうぞ ◇

群馬県金融広報委員会とは、群馬県、日本銀行前橋支店及び関東財務局前橋財務事務所と協力して、中立・公正な立場から、金融・経済に関する広報活動等をおこなっている団体です。

HP アドレス <http://www.gunma-kinkoui.com/index.html>

群馬県金融広報委員会事務局：〒371-8570 群馬県前橋市大手町 1-1-1  
(群馬県生活文化部消費生活課内)

電話：027-226-2273 / FAX：027-223-8100

---